

- ① FD講演会が開催されました！
 - ・-Beyond FD- 知能情報学部FD講演会
 - ・甲南大学FD/ITフォーラム
現代GP「実践的経営シミュレーション演習プログラム」最終報告会
 - ・授業外学習を促すコツ&成績評価
～What are some creative ways to make students review and prepare for classes?～
- ② マネジメント創造学部の取組み
- ③ 学外セミナーへ行ってきました！

2009年度 FD委員会活動報告

FD講演会が開催されました！

NEWS

1

-Beyond FD- 知能情報学部FD講演会

2010.1.22

本講演では、FDだけを考えるのではなく、大学をシステムと考え、高校(入力)、企業(出力)を通して、どのようなシステムを構築すべきかについてご講演を頂き、参加者による討論を行いました。まず、高校の立場から、高校教育の現状や高大連携の重要性に関するご講演を頂いた上で、大学および企業の立場から、「学生が主役であることを念頭に置いたFD活動が肝要である」とのご提言、および「基礎学力に立脚した応用能力が重要であ

(知能情報学部 教授 渡邊 栄治)る」との助言を頂きました。その後、「評価の難しさ」と「学生と企業とのミスマッチ」について、活発な討論が行われました。本講演を通じて、各機関が独立にFD活動に取り組むのではなく、すなわち、システム全体が良くなるように、個々の問題を共有し解決しようとする意識を持つことや一人の人間を複数の機関が一緒に育てる「ぐるみ教育」に、今後のFD活動の一方方向性が示されていると感じました。



【講師】
稲垣 明氏 (兵庫県立伊丹高校長)
香川 直己氏 (福山大学工学部教授)
安田 耕三氏 (川崎重工株式会社 技術開発本部 元理事)



【講師】
井端 正臣氏 (私立大学情報教育協会 事務局長)
小野 博氏 (放送大学名誉教授)
白井 宏明氏 (横浜国立大学 経営学部教授)
小松川 浩氏 (千歳科学技術大学 情報・メディア教育センター長
総合光科学部 グローバルシステムデザイン学科教授)
岩井 千明氏 (青山学院大学 国際マネジメント学科教授)
武本 Timothy氏 (山口大学 経済学部准教授)
大塚 晴之氏 (甲南大学経営学部教授)

甲南大学FD/ITフォーラム

2010.2.24

現代GP「実践的経営シミュレーション演習プログラム」最終報告会

(大学企画室長 石井 昇)

私立大学情報教育協会の井端事務局長はじめ6名の各分野で先端的な取組みをされている方々に講演いただき、最後に本学経営学部の大塚教授より、本GPの成果報告がなされました。それぞれ興味深い内容の講演であり、一言ずつでもご紹介したいとの想いも強いのですが、ここでは、日本リメディアル教育学会ファウンダーの小野博先生の講演「大学生の学力低下と対応策」について、個人的な感想を述べるに留めたいと思います。

小野先生は、わが国の大学で広く行われているリメディアル教育に対し、エビデンスを示しつつ、その問題点を指摘された後、例えば「日本人学生のための日本語教育」について、教員は決して教えず、ヒントを与える程度とし、「考える」「気づく」学習習慣をつけることを目標とする日本語授業を提案されました。その提案は非常に説得的であり、学生の日本語力に対し強い懸念が示されている甲南大学においても、是非実現したいと思います。

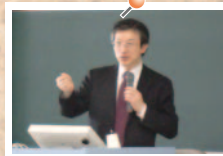
授業外学習を促すコツ&成績評価

2010.3.3

～What are some creative ways to make students review and prepare for classes?～

ティーチング・ティップス(授業の秘訣集)を体系的にまとめられたことで有名な池田先生のお話によると、授業外学習を促すために、講義の主題に関連する教材を読みレポートを毎回書くという課題を与えると、学生は自分で調べる習慣が付き、自主的に本を読むようになったそうです。また、課題は簡単なものから少々骨の折れるものへ移行

(FD委員会)させることやグループで取り組むものを含めることがコツで、提出者には得点を与えることも大切です。引き続いてのワークショップでは、“Group Grope”というワークを行いました。どんな課題や方法なら授業以外の時間を使って学習したくなるのかを、教員と自治会の学生に加えて、職員も一緒に考える新しい試みでした。



■講演会
【講師】
池田 輝政氏
(名城大学副学長・理事)



■ワークショップ
【コーディネーター】
ジョーンズ・プレント氏
(甲南大学 マネジメント
創造学部教授)

教員同士で失敗談やこんなことをやっているなど「甲南の中にある知恵」を共有するしくみが欲しいです。



マネジメント創造学部の取組み

マネジメント創造学部では、普段から積極的なFD活動が行なわれています。3月3日におこなわれたFDワークショップも、マネジメント創造学部における取組みを取り入れたものの1つです。

今回はその取組みである“Group Grope”をご紹介します。

FD Activities at Hirao School of Management (CUBE)

This article outlines one of our FD activities during the inaugural year at Hirao School of Management (CUBE). The main activities for the year where two FD workshops, the first was a half-day workshop for full-time faculty and staff during the Spring semester, and the other was a full-day workshop in Fall for all teachers involved in the English language program. In this article, I would like to introduce the second of these, a workshop for our English language program. Included is an activity called “Group Grope” that was also used at a school-wide FD workshop on March 3, 2010.

English Language Program

This FD event was held toward the end of the second term for all teachers of English courses in the Management program. The main purpose of this workshop was to gather teacher feedback from the first year of courses and brainstorm for ways to improve both the overall curriculum and individual courses. The activities for the day were as follows:

Morning

- (1) Participants were given 3 blank index cards and asked to write one idea on each card for “how to improve the English language program at CUBE.”
- (2) After most participants had completed this task, they were asked to stand up, mingle and compare ideas with others. They were told to trade cards if they

- found other ideas that appealed to them.
- (3) After everyone had a chance to compare and trade, participants were asked to form groups of 3 or 4. These groups then shared all ideas and negotiated a collective list of the top 3 ideas/suggestions.
- (4) After each group had chosen the top 3 ideas/suggestions, they were provided with a sheet of poster paper and colored markers, and asked to express these 3 ideas/suggestions in images (no words) on the poster.
- (5) Completed posters were displayed and participants were asked to hypothesize on what ideas/suggestions were being expressed.

Afternoon

The afternoon session was set aside for talking about specific second year courses. Participants sat with other teachers scheduled to teach the same course(s) and discussed (a) textbook selection, (b) supplementary materials, (c) types of activities, (d) assessment, and (e) the syllabus. We concluded the workshop with promises to continue the dialog online and in person. All in all, this was a very productive day.

Conclusion

In addition to gaining feedback on first year courses, another major outcome from this workshop was the strengthening of relationships and an increased sense of camaraderie. Participants seemed especially enthusiastic about pursuing similar workshops in the future.

Reported by

Brent A. Jones
Konan University FD Committee
Hirao School of Management FD Committee

To be continued...

学外セミナーへ
行ってきました!

2009年度 第15回FDフォーラム

—学生の学びを支える(つなぐFDの展開)—

知能情報学部 教授 森元 勸治

去る3月6日-7日の両日、同志社大学で開催された第15回FDフォーラムに出席しました。今回のテーマは「学生の学びを支える—つなぐFDの展開—」というものでしたが、特にサブタイトルの「つなぐ」という言葉には様々な意味があり、中でも最も難しいのが教員間の連携であるということでした。確かに、学生や職員は、ある程度まとまった行動がしやすいのですが、教員は個人の意識が強く、なかなかうまくいきません。しかし、FD活動は単なる授業の改善にとどまらず、大学全体の教育力の向上を目指しており、教員集団の連携と協力が必要なことは言うまでもありません。そしてそのためには、FD活動の意義と必要性を様々な機会を通して伝え続け、多くの教員がFDを自然に受け入れる土壌を作り上げることが大切であり、その結果、学生・職員・教員がともに協力して大学を良い方向へ発展させ、良い人材を社会に輩出することが、大学の存在意義であると、強く感じました。

2009年度 FD委員会活動報告

- 新任教員研修会の実施 (2009.4.3)
- 授業公開について議論・検討
- 授業改善アンケート(全学共通)に国際言語文化センターが参加
- 授業改善アンケートの集計・分析
- シラバスガイドライン作成
- 授業におけるマナー向上啓発について議論・検討(継続審議)
- 文学部FD講演会共催 (2009.10.23)
- 学外の各種セミナー等に参加
- FD news 第4号発行 (2009.12.1)
- 知能情報学部FD講演会後援 (2010.1.22)
- FD講演会・ワークショップ主催 (2010.3.3)
- FD news 第5号発行 (2010.3.25)